

## クラブ代表者会議について

新宅 幸憲

今年度BOSS会議は、昨年度までの活動内容に加え、クラブの代表者としてより有意義な意見交換ができる会議を目指すために、「クラブ代表者会」と名称を変更した。ここに、今年度のクラブ代表者会の議事録をもとに活動内容を記すこととする。

2011年度は、昨年度同様ほぼ1ヶ月に1回開催された。主な議事は下記のとおりである。なお、会場は毎回本部棟B会議室であった。

クラブ代表者会の主な活動は、クラブからの要望（予算関係・施設・備品関係など）を把握し、環境改善を目指すことである。そのために要望書の作成や施設の現状報告をすることで、部活動にひたむきに取り組む体制を整える必要がある。クラブ代表者会と学友会、スポーツ開発・支援センター担当教員、学生課などが手を取り合い、大学全体を活性化することが目的である。

4月には新役員と指定種目クラブの発表を行った。5月から6月にかけては指定種目クラブの現状報告と予算の使用用途、施設管理の要望を取りまとめた。その結果は7月に要望書としてまとめ、クラブ代表者会議で発表した。各クラブや学友会の要望は以下の4項目であった。すなわち、①全国レベルの大会に出場で報奨金を支給すること、②クラブでのその他の活動（美化活

動や会議への出席率など）によるポイント制の導入、③全クラブが使用できる備品（車など）の購入、④施設費の積み立て（クラブごとの環境整備のため）の4項目であった。要望のあった4項目の、①については、学生の要望に応え、報奨金分配の手続き等、学生課においてすすめられている。②から③は、現在、学生課において検討中である。

一方、今年度は、例年行ってきた研修会を開催することができなかったが、来年度以降はクラブ運営のマネジメント等を踏まえ、本学教員の特徴を生かした研修を開催していきたい。

最後に、今年度は本学学生の不正乗車や迷惑駐車など大学外でのマナー違反が問題になっている。クラブ代表者会としては、各クラブが適切な行動がとれるように、大学生活を充実したものにできるような体制を構築したいと考えている。具体的には、大学周辺の美化活動や部活動としての地域貢献を行うことで部員一人一人の帰属意識や規範意識を養うことが必要と考えている。クラブ代表者会は、クラブ活動の環境改善とともに社会人としての自覚を醸成する啓蒙活動の場であることを今後も大切にしていこうと考えている。